

平成16年度資源評価票(ダイジェスト版)

標準和名 キダイ

学名 *Dentex tumifrons*

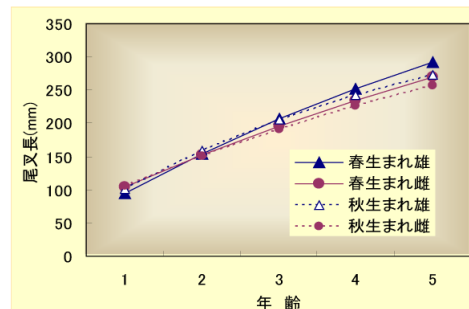
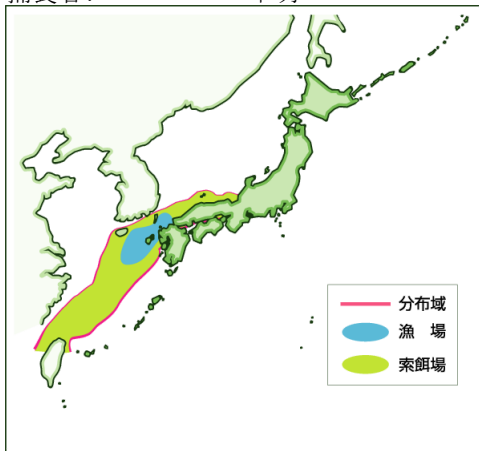
系群名 日本海・東シナ海系群

担当水研 西海区水産研究所



生物学的特性

寿命: 8歳以上
成熟開始年齢: 1.5〜2歳
産卵期・産卵場: 産卵期は春季と秋季の年2回、分布域内(五島西沖〜済州島、沖縄北西の大陸棚縁辺、台湾北東の大陸棚縁辺、浙江、福建近海)で産卵する
索餌期・索餌場: 大規模な回遊はなく、夏季は浅みに、冬季は深みにという深浅移動を行う程度
食性: 主たる餌料生物は甲殻類
捕食者: 不明

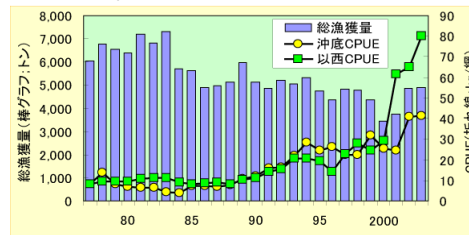
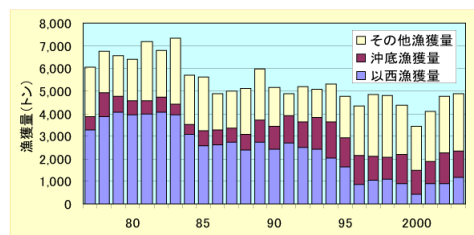


漁業の特徴

日本海における漁獲の主体は沖合底びき網漁業、小型底びき網漁業であり、2そうびき沖合底びき網漁業が約半分を占め、秋〜冬季が盛漁期である。東シナ海における漁獲の主体は以西底びき網漁業であり、1986年には東シナ海区における本種の漁獲量のうち約8割が以西底びき網漁業によるものであったが、2003年には約4割と減少している。近年では主に九州西岸で漁獲されている。このほかにも釣り・はえ縄等によって漁獲されている。中国・韓国でも漁獲されている。

漁獲の動向

1977年代後半〜1980年代前半に6千トンを超える漁獲があったが、近年では4千トン前後の漁獲量に止まっている。漁獲量に大きな割合を占める沖合底びき網漁業、以西底びき網漁業では漁船隻数の減少が続いている。2そうびき沖合底びき網漁業では1990年に入ってから約1千トンの漁獲がある。2そうびき以西底びき網漁業では2000年に大きく漁獲量が減少したものの、2001年以降は1千トン前後の漁獲がある。



資源評価法

日本海では2そうびき沖合底びき網漁業、東シナ海では2そうびき以西底びき網漁業がキダイ漁獲量の大きな割合を占める。このため、2そうびき沖合底びき網漁業および2そうびき以西底びき網漁業の漁獲成績報告書に基づく漁獲統計を用いて資源評価を行った。沖合底びき網漁業、以西底びき網漁業ともに漁船隻数の減少が続き、努力量の減少がみられることから、CPUE(単位努力量あたり漁獲量)の動向から資源状態を判断した。

資源状態

2そうびき沖合底びき網漁業、2そうびき以西底びき網漁業ともにCPUEは最近5年間では増加傾向にあり、最近20年間では高い水準にある。また、沖合底びき網漁業と以西底びき網漁業以外の漁業によるキダイ漁獲量は比較的安定している。ただし、東シナ海南部における2そうびき以西底びき網漁業のCPUEは減少傾向にあり、春季に東シナ海で行われる調査船調査でも、キダイの推定現存量は2001年から減少傾向にある。このように本種を対象とする漁業が複数あり、海域によって漁獲動向が異なることから、日本海と東シナ海に分けて資源状態を判断し、日本海では水準は高位・増加、東シナ海では中位・減少と判断した。



管理方策

日本海では高水準増加傾向と判断したため、現在の資源水準の維持を管理目標とした。東シナ海では中水準減少傾向と判断したため、資源水準の回復を管理目標とした。両海域の平均漁獲量とその変化率を考慮し、日本海側の平均漁獲量×1.3と東シナ海側の平均漁獲量×0.5の合計をABClimitとした。ABCTargetは安全率を考慮してABClimit×0.8とした。

	2005年漁獲量	管理基準	F値	漁獲割合
ABClimit	4,100トン	1.3Cave3-yr(日本海) 0.5Cave3-yr(東シナ海)	-	-
ABCTarget	3,300トン	0.8ABClimit	-	-

資源評価のまとめ

- 2そうびき沖合底びき網漁業のCPUEは1997年以降若干の減少傾向がみられたが、2002年には再び増加に転じ、高い水準を保っている
- 2そうびき以西底びき網漁業のCPUEは全体として増加傾向にあるものの、東シナ海南部におけるCPUEは減少傾向であり、最近20年間では低い水準にある
- その他の漁業による漁獲量は比較的安定しており、大きな増減は見られない

管理方策のまとめ

- 日本海では現状の資源状態を維持し、東シナ海では回復を目指す
- 韓国・中国を含めた共同管理が必要

資源評価は毎年更新されます。